Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科
科目名称	専攻演習			授業形態	演習
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4
	実務経験担当教員		Active・L	○	
担当教員名	出口　佳奈絵			ICT活用	

授業概要	本科目では、暮らしと健康に役立つテーマを設定し、栄養と健康の科学的視点を深めることを目的とする。地域特性を活かした食事づくりと健康との関連を調査し、客観的な観察力を養う。また、理解しやすいプレゼンテーションスキルを修得し、相互理解と思いやりのあるコミュニケーション力の向上を目指す。専門職として、健康意識の向上や健康問題の改善等を支援するためのに必要な基本的技能を修得する。
関連する科目	（履修前）基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学 分野
授業の方法と進め方	テーマに関する情報収集と成果報告を行い、総括する。 定期的な意見交換を行い、成果報告に役立てる。 テーマごとの成果はプレゼンテーションで報告する。
第1回	オリエンテーション① 演習計画と目的について学ぶ。
第2回	オリエンテーション② テーマ設定について学ぶ。
第3回	テーマ(1)に関する文献調査① 健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。
第4回	テーマ(1)に関する文献調査② 健康と栄養に関する情報の収集を行う。
第5回	テーマ(1)に関する文献調査③ 健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。
第6回	テーマ(1)に関する文献調査④ 健康と栄養に関する情報の分析を行う。
第7回	テーマ(1)に関する文献調査⑤ 健康と栄養に関する情報の総括を行う。
第8回	成果報告① 文献についてプレゼン資料を作成する。
第9回	成果報告② 効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。
第10回	成果報告③ テーマ(1)のプレゼンテーションを行う。
第11回	成果報告④ プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
第12回	テーマ(2)に関する文献調査① 健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。
第13回	テーマ(2)に関する文献調査② 健康と栄養に関する情報の収集を行う。
第14回	テーマ(2)に関する文献調査③ 健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。
第15回	テーマ(2)に関する文献調査④ 健康と栄養に関する情報の分析を行う。
第16回	テーマ(2)に関する文献調査⑤ 健康と栄養に関する情報の総括を行う。
第17回	成果報告① 文献についてプレゼン資料の作成を行う。

第18回	成果報告② 　効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。
第19回	成果報告③ 　テーマ(2)のプレゼンテーションを行う。
第20回	成果報告④ 　プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
第21回	テーマ(3)に関する文献調査① 　健康と栄養に関する情報の収集を学ぶ。
第22回	テーマ(3)に関する文献調査② 　健康と栄養に関する情報の収集を行う。
第23回	テーマ(3)に関する文献調査③ 　健康と栄養に関する情報の分析を学ぶ。
第24回	テーマ(3)に関する文献調査④ 　健康と栄養に関する情報の分析を行う。
第25回	テーマ(3)に関する文献調査⑤ 　健康と栄養に関する情報の総括を行う。
第26回	成果報告① 　文献についてプレゼン資料を作成する。
第27回	成果報告② 　効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。
第28回	成果報告③ 　テーマ(3)のプレゼンテーションを行う。
第29回	成果報告④ 　プレゼンテーションについて質疑応答を行う。
第30回	総合討論 　成果報告について総合的に解説と総括を行う。
授業の達成目標	①健やかに生きるための栄養学について理解を深める。【知識・理解の獲得】 ②分かりやすいプレゼンテーションスキルの向上に努める。【汎用的技能の育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(5)
授業時間外学習【予習】	テーマについて探究する時間をとること。（60分）
授業時間外学【復習】	適切な成果報告の重要性を自覚し、柔軟に工夫すること。（60分）
課題に対するフィードバック	・成果報告に対してコメントを行う。 ・成果を集約して総合的に解説する。
評価方法・基準	①成果報告（60％） ②課題提出物（40％） ＊客観的な観察力と課題解決力を総合評価する。
テキスト	基礎栄養学・応用栄養学・臨床栄養学分野の教科書
参考書	参考文献は適宜紹介する。
備考	配布資料の整理を行い、学習内容を記録すること。

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称	専攻演習					授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員		Active・L ○
担当教員名	木村　志緒						ICT活用	○
授業概要	国家試験勉強の方法について、国試過去問と模試過去問を用いて、系統学的に反復学習するための資料を作成し、ゼミ内で発表・討論し、ブラッシュアップしたものを提出する。							
関連する科目	公衆衛生学、健康管理概論、食事計画論実習Ⅰ							
授業の方法と進め方	グループあるいは個人でテーマを定めて取り組む。 提出資料はPCを用いて作成し、ユニパで提出する。 ゼミ内討論における意見は口頭で伝えたのち、クリッカーにも記録する。							
第1回	健康の概念（国試過去問） ：WHOによる健康の定義などについて学習する。							
第2回	健康の概念（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第3回	公害（国試過去問） ：わが国の4大公害や環境に関する国際規約などについて学習する。							
第4回	公害（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第5回	がん（国試過去問） がんのﾘｽｸ因子、わが国のがん対策などについて学習する。							
第6回	がん（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第7回	感染症（国試過去問） 感染症法による１～５類の疾患などについて学習する。							
第8回	感染症（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第9回	医療制度（国試過去問） わが国の医療費や制度のしくみなどについて学習する。 第6回							
第10回	医療制度（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第11回	地域保健（国試過去問） 保健所と地域保健ｾﾝﾀｰの違いなどについて学習する。							
第12回	地域保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第13回	母子保健（国試過去問） ：わが国の母子保健制度や健やか親子21などについて学習する。							
第14回	母子保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第15回	産業保健（国試過去問） ：労働の5管理などについて学習する。							
第16回	産業保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。							
第17回	学校保健（国試過去問） ：学校保健を担う職員の役割や学校感染症などについて学習する。							

第18回	学校保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第19回	高齢者保健（国試過去問） ：介護保険制度などについて学習する。
第20回	高齢者保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第21回	国際保健（国試過去問） ：WHO、FAO、UNCEFなどについて学習する。
第22回	国際保健（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第23回	保健統計（国試過去問） わが国の死因や年齢調整死亡率などについて学習する。
第24回	保健統計（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第25回	水道・熱中症（国試過去問） ：わが国の水道基準や、熱中症対策について学習する。
第26回	水道・熱中症（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第27回	疫学(1)（国試過去問） ：疫学手法や研究倫理などについて学習する。
第28回	疫学(1)（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
第29回	疫学(2)（国試過去問） ：疫学指標やｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ などについて学習する。
第30回	疫学(2)（模試過去問） ：国試では出題されていない内容について討論する。
授業の達成目標	国試過去問を正答するための知識に、模試過去問を正答するための知識を加えていくという一連の流れの中で、国試合格のための知識とスキルを身につける。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(5)
授業時間外学習【予習】	学習時間：30分程度 授業当日のテーマ分の国試過去問をweb上の解説等を見ながらでもよいので通読しておく。
授業時間外学【復習】	学習時間：30分程度 模擬試験や国家試験に向けて、学習した知識を長期的に定着させるために反復学習を行う。
課題に対するフィードバック	教員が作成したまとめ資料は提出期限以降にユニパの授業資料にアップする。 質問等には授業時間外も含め対応する
評価方法・基準	取組状況および提出資料を総合して評価する。
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科

科目名称	専攻演習	授業形態	演習

科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員		Active･L	○

担当教員名	川北　久美子	ICT活用	○

授業概要	管理栄養士として働くために必要な基本的知識である栄養学について、これまで学んだことをもとに演習を通じて総括を行う。また現代における栄養問題についても探求する。
関連する科目	からだと栄養Ⅰ、Ⅱ、基礎栄養学、からだと栄養実験、基礎栄養学実習を履修し単位を取得しておくことが望ましい。
授業の方法と進め方	与えられたテーマについて提示されたポイントを盛り込んで、レポートを作成し、プレゼンテーションを行う。質疑応答にて知識の確認やディスカッションを行う。
第1回	遺伝子発現と栄養素の関わり ・遺伝子配列内に存在する個人差を中心にレポートを作成する。
第2回	遺伝子発現と栄養素の関わり ・遺伝形質ー環境因子ー栄養との関わり、生活習慣病に関わる遺伝子多型の例を中心にレポートを作成する。
第3回	遺伝子発現と栄養素の関わり ・第1回目と2回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第4回	遺伝子発現と栄養素の関わり ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第5回	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・三大栄養素の管腔内消化と膜消化や吸収後の栄養素のゆくえを中心にレポートを作成する。
第6回	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・第5回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第7回	消化・吸収と栄養素の体内動態について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第8回	糖質代謝について ・グルコースからATPが産生される過程やグリコーゲン代謝を中心にレポートを作成する。
第9回	糖質代謝について ・過栄養、空腹時の代謝を中心にレポートを作成する。
第10回	糖質代謝について ・第8回目と9回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第11回	糖質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第12回	タンパク質代謝について ・アミノ酸代謝を中心にレポートを作成する。
第13回	タンパク質代謝について ・窒素出納を中心にレポートを作成する。
第14回	タンパク質代謝について ・第12回目と13回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第15回	タンパク質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。

第16回	脂質代謝について ・リポタンパク質の構造や脂質が各臓器に取り込まれる過程を中心にレポートを作成する。
第17回	脂質代謝について ・第16回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第18回	脂質代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第19回	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・特に骨代謝、鉄代謝、抗酸化系とのかかわりを中心にレポートを作成する。
第20回	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・第19回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第21回	ビタミン・ミネラルの相互作用について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第22回	水の代謝について ・体水分の動的平衡、体液のpH調節機構、膠質浸透圧を中心にレポートを作成する。
第23回	水の代謝について ・第22回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第24回	水の代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第25回	エネルギー代謝について ・エネルギー代謝の測定法やエネルギー代謝の概念を中心にレポートを作成する。
第26回	エネルギー代謝について ・第25回目にまとめたレポートをもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第27回	エネルギー代謝について ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
第28回	現代における栄養問題 ・情報検索や資料の収集を行う。
第29回	現代における栄養問題 ・収集した資料をもとにプレゼンテーション資料を作成する。
第30回	現代における栄養問題 ・プレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションを行う。
授業の達成目標	1. 栄養学の知識の定着を図る。【知識・理解の育成】 2. 必要な情報を収集し、その内容をまとめ、プレゼンテーションできる能力を身につける。【汎用的技能の育成】 3. 栄養の諸問題から解決の糸口を見つけ、将来の管理栄養士業務に生かす。【知識・理解を応用し活用する能力の育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)
授業時間外学習【予習】	関連する教科書や文献を読んでおくこと（約2時間）。
授業時間外学【復習】	作成したレポートやプレゼンテーション資料をしっかりと確認し、プレゼンテーションに備えること（約3時間）。
課題に対するフィードバック	提出されたレポートは毎回添削などをして返却する。 プレゼンテーションの際は、ディスカッションを通じて訂正、解説をする。
評価方法・基準	レポートの内容・・40点 プレゼンテーション力・・30点 学習意欲・受講態度・・30点
テキスト	特になし。
参考書	関連する科目で使用した教科書 その他必要に応じて資料や文献を配布する。

備考	

Minami Kyushu University Syllabus

<table>
<tr><td>シラバス年度</td><td>2023年度</td><td>開講キャンパス</td><td>宮崎キャンパス</td><td>開設学科</td><td colspan="4">管理栄養学科</td></tr>
<tr><td>科目名称</td><td colspan="6">専攻演習</td><td>授業形態</td><td></td></tr>
<tr><td>科目コード</td><td>300020</td><td>単位数</td><td>2単位</td><td>配当学年</td><td></td><td>実務経験担当教員</td><td>〇</td><td>Active･L 〇</td></tr>
<tr><td>担当教員名</td><td colspan="6">杉尾　直子</td><td>ICT活用</td><td>〇</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">「食を通して地域に貢献すること」を目的とした研究です。食べ物と健康との関係を広く捉え、調査等から課題をみつけ、トータルマネジメントやサポートによって地域への還元を目指す研究です。例えば、小中学生対象に「スポーツ栄養」、宮崎市域住民を対象に「食と生活習慣病」、若年層対象に「望ましい食事」から体験活動を含めた栄養教育を実施し、生涯に渡って心身共に健全な生活を送れるよう支援支援も含めた研究等を行っています。【知識・理科を応用し活用】

栄養教諭等で児童生徒、保護者、地域の関わった食育活動を行ってきた実務経験や体育協会での活動をを活かし、取り組んで行きます。</td></tr>
<tr><td>関連する科目</td><td colspan="8">3年次までに学習してきた教科全体が関連してきます。</td></tr>
<tr><td>授業の方法と進め方</td><td colspan="8">各自のテーマに沿って、データを収集し、卒業研究をまとめる。</td></tr>
<tr><td>第1回</td><td colspan="8">研究に関する全体計画（年間活動計画）の作成からシュミレーションする①</td></tr>
<tr><td>第2回</td><td colspan="8">研究に関する全体計画（年間活動計画）の作成からシュミレーションする②</td></tr>
<tr><td>第3回</td><td colspan="8">研究に関する全体計画（年間活動計画）の作成からシュミレーションする③</td></tr>
<tr><td>第4回</td><td colspan="8">今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる①</td></tr>
<tr><td>第5回</td><td colspan="8">今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる②</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td colspan="8">今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる③</td></tr>
<tr><td>第7回</td><td colspan="8">今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる④</td></tr>
<tr><td>第8回</td><td colspan="8">今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる⑤</td></tr>
<tr><td>第9回</td><td colspan="8">今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表①</td></tr>
<tr><td>第10回</td><td colspan="8">今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表②</td></tr>
<tr><td>第11回</td><td colspan="8">今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表③</td></tr>
<tr><td>第12回</td><td colspan="8">今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表④</td></tr>
<tr><td>第13回</td><td colspan="8">今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表⑤</td></tr>
<tr><td>第14回</td><td colspan="8">研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成①</td></tr>
<tr><td>第15回</td><td colspan="8">研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成②</td></tr>
<tr><td>第16回</td><td colspan="8">研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成③</td></tr>
<tr><td>第17回</td><td colspan="8">研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成④</td></tr>
<tr><td>第18回</td><td colspan="8">研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成⑤</td></tr>
<tr><td>第19回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等①</td></tr>
<tr><td>第20回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等②</td></tr>
<tr><td>第21回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等③</td></tr>
<tr><td>第22回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等④</td></tr>
<tr><td>第23回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等⑤</td></tr>
<tr><td>第24回</td><td colspan="8">アンケートの実施及び現場での調査等⑥</td></tr>
</table>

第25回	アンケート等の集計①
第26回	アンケート等の集計②
第27回	アンケート等の集計③
第28回	アンケート等の分析①
第29回	アンケート等の分析②
第30回	全体まとめ及び製本
授業の達成目標	１．４年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 ２．卒業論文に取り組む過程で、子どもの発達にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(2)
授業時間外学習【予習】	年間計画を作成するにあたって、関連する研究の学会発表や論文を検索し、情報収集を行います。
授業時間外学【復習】	途中までの研究やまとめ方を見直します。
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	専攻演習						授業形態	演習		
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員	〇	Active・L	〇	
担当教員名	渡邉　純子							ICT活用	〇	
授業概要	本演習の目的は、これまで学修した栄養教育論関連分野の専門的知識と技術を体系的に捉えなおし、管理栄養士に必要な能力の定着化をはかることである。後半では、管理栄養士国家試験過去問題などを活用し、主体的な学習の成果と評価を行う。									
関連する科目	栄養教育総論、栄養教育各論Ⅰ、栄養教育各論、栄養教育論実習ⅠおよびⅡ									
授業の方法と進め方	個別学習とグループ学習を中心に進め、教員の評価と助言を行う。									
第1回	行動科学理論と栄養教育									
第2回	行動科学理論とモデル									
第3回	行動変容技法と栄養教育									
第4回	栄養カウンセリングと栄養教育									
第5回	食環境と栄養教育									
第6回	栄養教育マネジメント～アセスメント									
第7回	栄養教育マネジメント～栄養教育計画									
第8回	栄養教育マネジメント～栄養教育の実施									
第9回	栄養教育マネジメント～評価									
第10回	ライフステージ別栄養教育～妊娠・授乳期									
第11回	ライフステージ別栄養教育～乳児期									
第12回	ライフステージ別栄養教育～幼児期									
第13回	ライフステージ別栄養教育～学童期									
第14回	ライフステージ別栄養教育～思春期									
第15回	ライフステージ別栄養教育～成人期									
第16回	ライフステージ別栄養教育～高齢期									
第17回	障がい者と栄養教育									
第18回	スポーツと栄養教育									
第19回	サプリメントと栄養教育									
第20回	社会福祉施設と栄養教育									
第21回	栄養教育と国際的動向									
第22回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説①									
第23回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説②									
第24回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説③									
第25回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説④									
第26回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説⑤									

第27回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説⑥
第28回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説⑦
第29回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説⑧
第30回	管理栄養士国家試験栄養教育分野過去問・解説⑨
授業の達成目標	3年次までに学修した栄養教育論分野の知識・技術をもとに応用力を身につける。 管理栄養士として各機関で働くに必要な知識・技術を身につける。 管理栄養士国家試験に合格できる知識・応用力を身につける。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(5)
授業時間外学習【予習】	【予習】その日の演習内容について、1～３年次の教科書や資料等を確認し理解を深める。
授業時間外学【復習】	【復習】正解出来なかった部分、正解したが正確に理解出来ていない部分について復習する。
課題に対するフィードバック	課題提出後、それを返却し解説する。
評価方法・基準	課題（70%） 演習への取り組み方（30%）
テキスト	1～3年次の栄養教育論関連のテキスト・サブテキスト
参考書	1～3年次の栄養教育論で提示した参考書類 上記に加え、必要に応じて提示する。
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識や技術について講義・指導を行う。

Minami Kyushu University Syllabus

<table>
<tr><td>シラバス年度</td><td>2023年度</td><td>開講キャンパス</td><td colspan="2">宮崎キャンパス</td><td>開設学科</td><td colspan="4">管理栄養学科</td></tr>
<tr><td>科目名称</td><td colspan="6">専攻演習</td><td>授業形態</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>科目コード</td><td>300020</td><td>単位数</td><td>2単位</td><td>配当学年</td><td>4</td><td>実務経験担当教員</td><td>○</td><td>Active･L</td><td>○</td></tr>
<tr><td>担当教員名</td><td colspan="7">小川　恒夫</td><td>ICT活用</td><td></td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="9">この科目では、今まで学修してきた知識の整理を行う。
解剖学、生理学、疾病学で学んだ知識を医療機関で役に立つ様に、身につけてもらう。
3年生までは、科目ごとに講義を行ってきたが、この科目では、臓器ごとに、①その臓器の構造、②その臓器の働き、③疾患が引き起こされるメカニズム、④疾患が起こったときの症状や検査結果、⑤疾患の治療法　を総合的に学習する。
また国家試験の問題研究も行う。国試の問題には実際の医療に即した問題も出題される。実地経験のある教員により臨床の現場では何が重要であるかも含めて講義する。</td></tr>
<tr><td>関連する科目</td><td colspan="9">本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、臨床医学Ⅰ･Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ･Ⅱ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：なし</td></tr>
<tr><td>授業の方法と進め方</td><td colspan="9">管理栄養士国家試験に合格する知識を身につけることが大切なので、国家試験過去問、模擬試験の問題を中心に問題を解いてもらう。その後解説し、理解を深めてもらう。</td></tr>
<tr><td>第1回</td><td colspan="9">第1回　骨格、筋肉の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第2回</td><td colspan="9">第2回　骨格、筋肉疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第3回</td><td colspan="9">第3回　骨格筋、平滑筋、心筋の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第4回</td><td colspan="9">第4回　骨格筋、平滑筋、心筋疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第5回</td><td colspan="9">第5回　食道、胃、小腸、大腸の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第6回</td><td colspan="9">第6回　食道、胃、小腸、大腸疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第7回</td><td colspan="9">第7回　肝臓、膵臓の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第8回</td><td colspan="9">第8回　肝臓、膵臓疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第9回</td><td colspan="9">第9回　循環器の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第10回</td><td colspan="9">第10回　循環器疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第11回</td><td colspan="9">第11回　泌尿器の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第12回</td><td colspan="9">第12回　泌尿器疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第13回</td><td colspan="9">第13回　生殖器の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第14回</td><td colspan="9">第14回　生殖器疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第15回</td><td colspan="9">第15回　神経の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第16回</td><td colspan="9">第16回　神経疾患の病態
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
<tr><td>第17回</td><td colspan="9">第17回　内分泌の解剖生理
国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。</td></tr>
</table>

第18回	第18回　内分泌疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第19回	第19回　呼吸器の解剖生理 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第20回	第20回　呼吸器疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第21回	第21回　感覚器の解剖生理 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第22回	第22回　感覚器疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第23回	第23回　皮膚、汗腺の解剖生理 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第24回	第24回　皮膚、汗腺の疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第25回	第25回　血液の解剖生理 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第26回	第26回　血液疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第27回	第27回　病原微生物の分類 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第28回	第28回　感染症の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第29回	第29回　免疫系の解剖生理 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
第30回	第30回　自己免疫疾患の病態 国家試験の過去問を解きながら、当該臓器について、1，2年生で学修した知識を整理する。
授業の達成目標	1年生時より学んできた人体と構造分野の総まとめの科目であり、管理栄養士として医療機関で働くに必要な知識を身につける。管理栄養士国家試験に合格できる知識を身につける。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)
授業時間外学習【予習】	その日に勉強する内容について、1，2年の教科書やプリントを読んで理解する。（1時間）
授業時間外学【復習】	正解出来なかった部分、正解したが正確に理解出来ていない部分について復習する。（1時間）
課題に対するフィードバック	問題を提出してもらい、それを返却し解説をする。
評価方法・基準	毎回の小テスト、課題（100点）
テキスト	1年生、2年生で使用した教科書を持ってくること。
参考書	人体の構成と機能及び疾病の成り立ち　総論、各論Ⅰ、各論Ⅱ　南江堂（図書室にあります。） 病気がみえるシリーズ（全11巻）医療情報科学研究所　（図書室にあります。）
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	専攻演習							授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員			Active・L	〇
担当教員名	生地　暢								ICT活用	〇
授業概要	この授業の目的は、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点および専門的知識を持って、良質で安全な栄養・食事管理を行える力を身につけることである。管理栄養士としての基礎的知識に重要な位置を占める生化学および食品衛生学の観点から、身近なテーマを選び、その理論的背景や現状、その対策について、文献およびインターネットなどを利用して情報を収集する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行い、質疑応答を行う。									
関連する科目	生化学Ⅰ・生化学Ⅱ・生化学実験・食品衛生学・食品衛生学実験を受講し、単位修得しておく。									
授業の方法と進め方	身近なテーマを選び、その理論的背景や現状、その対策について、文献あるいはインターネットなどを利用して情報を収集する。その情報を分析して、プレゼンテーション資料を作成し、セミナー形式によるプレゼンテーションを行う。その内容についてディスカッションする。									
第1回	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
第2回	文献等の調査① 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
第3回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成① 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。									
第4回	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。									
第5回	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行う。									
第6回	プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。									
第7回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
第8回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答① プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									
第9回	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。									
第10回	発表成果のまとめ① 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。									
第11回	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
第12回	文献等の調査② 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。									
第13回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成② 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。									
第14回	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。									
第15回	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行う。									
第16回	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。									
第17回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。									

第18回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答② プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
第19回	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
第20回	発表成果のまとめ② 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
第21回	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
第22回	文献等の調査③ 関心があるテーマについて、文献等で事前調査を行う。
第23回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成③ 関心あるテーマを決定し、プレゼンテーション資料の作成を行う。
第24回	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、内容確認を行う。
第25回	プレゼンテーション資料の作成③ プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、補足資料としての文献等の調査を行う。
第26回	プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーション資料の作成を行うとともに、発表準備を行う。
第27回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
第28回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答③ プレゼンテーション発表を行い、グループ討議および質疑応答を行う。
第29回	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
第30回	発表成果のまとめ③ 討議等を踏まえて、発表成果のまとめを行う。
授業の達成目標	1.プレゼンテーション討議を通して、基礎的知識の統合と応用力を身につける。【知識･理解の獲得】 2.関心があるテーマを決定し、それに関する文献等を調べ、その内容をまとめ理解できる。【情報リテラシーの育成】 3.グループ発表･討議のなかで、自らにフィードバックできる。【コミュケーションスキルの育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(3)
授業時間外学習【予習】	3年次までに修得した生化学や食品衛生学を中心とした専門科目を復習しておくこと。(約1時間)
授業時間外学【復習】	他者の発表を見て、評価したり、自分の発表に活かせるようにフィードバックしておくこと。(約1時間)
課題に対するフィードバック	各プレゼンテーションおよびレポートを作成するなかで、その都度、評価･解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1）各プレゼンテーションの内容 (30点) 2）発表および質疑応答の態度 (30点) 3）レポートの内容 (40点)
テキスト	特にないが、適宜必要な文献等を提示する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称	専攻演習				授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員	
						Active･L	○
担当教員名	竹之山　愼一					ICT活用	○

授業概要	4年次に進学するまでに講義あるいは実験・実習等によって習得した食品科学全般の知識をもとに，自主的に食品学分野において幅広く調べ、管理栄養士に向けての演習を行う【知識・理解の獲得】。
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学早Ⅲ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。
授業の方法と進め方	毎回の授業にて、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた授業を展開します。 授業の全般的に下記の授業計画の項目について講義します。その途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。 また、適宜授業の進行具合において小テスト、レポート課題等を課します。 さらには専攻演習の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います。
第1回	専攻演習の授業計画は以下ののような概要となる。 ・従来の座学「食品学Ⅰ」「食品学Ⅱ」「食品学Ⅲ」の復習 ・従来の実験実習科目「食品学実験」「食品加工学実習」の復習 ・食品学での不明な事項・事例の調査 ・食品に関する文献検索 ・プレゼンテーション・質疑応答 第１～２回　食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）
第2回	第３～４回　文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）
第3回	第５～６回　プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）
第4回	第７～８回　セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）
第5回	第９～10回　発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）
第6回	第11～12回　食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）
第7回	第13～14回　文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）
第8回	第15～16回　プレゼンテーション資料を作成（パワーポイントによるプレゼンテーション資料を作成します）
第9回	第17～18回　セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）
第10回	第19～20回　発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）
第11回	第21～22回　食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査（食品学分野のテーマ設定のための文献等の調査を行います）
第12回	第23～24回　文献等の調査のまとめと発表テーマの決定（文献等の調査のまとめと発表テーマの決定を行います）
第13回	第25～26回　プレゼンテーション資料を作成（プレゼンテーション資料を作成を行います）
第14回	第27～28回　セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答（セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答を行います）
第15回	第29～30回　発表成果のまとめ（発表成果のまとめを行います）
授業の達成目標	専攻演習で調べた内容により、今まで履修してきた内容と、専攻演習で調べた内容とを総合的に理解を深め、栄養士・管理栄養士として重要な、人間に対する医療を軸とした演習を行い、食品学に関する知識を実践的なものとしていく。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)

授業時間外学習【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと（１ｈｒ）。
授業時間外学【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1）学習意欲・質疑応答－30点 2）小テスト・レポート提出－50点 3）プレゼンテーション－20点
テキスト	
参考書	
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	専攻演習						授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	村上　真珠美							ICT活用	○
授業概要	4年次までに学修してきた臨床栄養学での知識をさらに深め、管理栄養士国家試験にも問題研究する。								
関連する科目	臨床栄養学ⅠⅡⅢⅣ、臨床栄養学実習ⅠⅡⅢ、								
授業の方法と進め方	管理栄養士国家試験に合格に向けての問題を解く、過去問、模擬試験を活用し理解を深めていく。グループワーク手法も行う。 課題はUNIPAで自伝に配布。								
第1回	臨床栄養の概念								
第2回	臨床栄養の概念								
第3回	医療と臨床栄養								
第4回	福祉・介護と臨床								
第5回	栄養ケアプロセス								
第6回	栄養補給法								
第7回	経腸栄養補給法・静脈栄養補給法								
第8回	傷病者・要介護者への栄養教育								
第9回	薬と栄養・食事の相互作用								
第10回	栄養障害								
第11回	肥満・肥満症・メタボリックシンドローム								
第12回	代謝疾患								
第13回	消化器疾患								
第14回	循環器疾患								
第15回	腎・尿路疾患								
第16回	内分泌疾患								
第17回	神経疾患								
第18回	摂食障害								
第19回	呼吸器疾患								
第20回	血液系の疾患								
第21回	筋・骨格疾患								
第22回	免疫・アレルギー疾患								
第23回	感染症								
第24回	がん 手術・周術期 クリティカルケア								
第25回	身体・知的障害								

第26回	妊産婦・授乳婦疾患 乳幼児・小児疾患
第27回	摂食機能の障害
第28回	高齢者の疾患
第29回	乳幼児・小児疾患
第30回	まとめ 1回〜30回では、疾患別の栄養管理についての問題を解いて自分の知識・理解を深める。
授業の達成目標	臨床栄養学の知識を実践的なものにしていく。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(5)
授業時間外学習【予習】	以前習った内容を教科書で理解する。（1時間）
授業時間外学【復習】	回答できなかったところの復習（1時間）
課題に対するフィードバック	問題を解き解説する。
評価方法・基準	小テスト、課題（100点）
テキスト	臨床栄養学で使用した教科書
参考書	とくになし
備考	

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称	専攻演習					授業形態	演習	
科目コード	300020	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験担当教員	〇	Active・L 〇
担当教員名	長友　多恵子						ICT活用	〇
授業概要	本授業の目的は、３年次までに習得した公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般の専門知識をもとに，公衆栄養学分野における興味あるテーマを選び、プレゼンテーションを作成することです。まず、文献調査をして内容をしっかり把握したうえで資料を作成し、パソコンを用いたプレゼンテーションを専攻生の前で行い、質疑応答を行う。発表テーマによっては、少人数の班を編成して行う場合もある。							
関連する科目	履修前に、公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般を受講しておくことが望ましい。							
授業の方法と進め方	まず、研究テーマを決め、なるべく自主的に、自らの探究心を持って研究を進めます。 研究室の他学生と協力しながら、発表に備えて、3年までに経験し学んだ知識や方法を駆使し、まとめていきます。 パソコンを使用した検索や作図・統計処理を行い、課題の提出の一部は、ユニパのクラスプロファイル上で行います。							
第1回	文献等の調査１							
第2回	文献等の調査２							
第3回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成１							
第4回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料の作成２							
第5回	文献等の調査１							
第6回	文献等の調査２							
第7回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答１							
第8回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答２							
第9回	発表成果のまとめ１							
第10回	発表成果のまとめ２							
第11回	文献等の調査１							
第12回	文献等の調査２							
第13回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成１							
第14回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成２							
第15回	文献等の調査１							
第16回	文献等の調査２							
第17回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答１							
第18回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答２							
第19回	発表成果のまとめ１							
第20回	発表成果のまとめ２							
第21回	文献等の調査１							
第22回	文献等の調査２							
第23回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成１							
第24回	発表テーマの決定とプレゼンテーション資料を作成２							
第25回	文献等の調査１							

第26回	文献等の調査２
第27回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答１
第28回	セミナー形式によるプレゼンテーションと質疑応答２
第29回	発表成果のまとめ１
第30回	発表成果のまとめ２
授業の達成目標	1.プレゼンテーションの準備や実施を通して，3年次までに習得した専門内容を再確認する。【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】 2.情報収集，発表計画，コンピュータの活用，プレゼンテーション，コミュニケーションなどの能力を習得する。【問題解決力・問題発見力の獲得】【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)
授業時間外学習【予習】	３年次までに習得した公衆栄養学を中心とする専門科目について復習をしておく（1時間）
授業時間外学[復習]	他者の発表を見て評価したり、自分の発表にフィードバックすることで改善点をまとめておく（1時間）
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションと質疑応答や発表の中でのアドバイスを行います。
評価方法・基準	取組状況　30点 プレゼンテーション　50点 発表態度　20点
テキスト	使用しない。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	